

# 長野県立こども病院新生児科の紹介



新生児科では、主にフェローの枠を募集しています。ぜひ一度見学に来ていただき、我々の仲間に加わっていただきたいと思ひます。

## ●長野県立こども病院新生児科の特徴

### 1、ありとあらゆる新生児疾患に対応

長野県立こども病院は、各診療科が一通りそろっている中規模の小児病院です。新生児科研修では、早産児だけでなく、循環器、小児外科、脳神経外科、神経、遺伝、感染性疾患を含めた、ありとあらゆる新生児疾患・手術に対応することになります。全ての疾患において新生児科が主治医として責任をもって診療に当たります。超低出生体重児の管理マニュアルを出版しています。

### 2、新生児搬送が多い

長野県は広く、ドクターカーによる迎え搬送、送り搬送の件数も非常に多く、搬送医学も同時に学ぶことができます。搬送は他施設や車内で医療行為を行うことから、緊張が強られる場面ではありますが、それだけ鍛えられる環境でもあると思ひます。

### 3、新生児科全体で1チーム

1人の医師が概ね、4.5人の主治医となりますが、新生児科全体で一つのチームとして動いており、若手医師のフォローと無理の無い勤務体制(当直明けは帰宅、月5、6日の完全オフ日)を構築し、皆がのびのびと仕事をしています。子育て世代の医師も多く、いろいろと助け合いながら働いています。

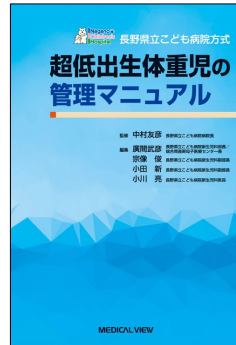
### 4、さまざまな学びの場

周産期カンファレンス：様々な分野のゲストスピーカーをお迎えして、講演が企画されています。

新生児呼吸療法モニタリングフォーラム：科をあげて運営に取り組んでいます。(2026年からの再開を目指しています)

NAVAワークショップ：全国の仲間とともに2019年から開催しており、NAVAの普及とエビデンスの構築を目指しています。最近NAVApediaというテキストが発売になりました。

NNミーティング：2020年からは成育医療センター新生児科との定例webミーティングを行い、若手医師の発表の機会と、互いの知識と経験をシェアさせていただいています。



当科のマニュアルは書籍化されています(通称 青本)



4代目のドクターカーです



比較的若いチームで頑張ってます！

### 5、ファミリーセンタードケア

当科から留学している糸島医師の所属するフィンランドTurku大学のファミリーセンタードケアの教育プログラム、Close collaboration with parents trainingの履修を開始しています。国内初の取り組みにありますが、この教育プログラムをNICUの全員が履修することで家族との関わり方が変わり、我々のNICUがより家族中心となることを目標としています。ファミリーセンタードケアに関する、臨床研究も複数進めています。

<https://www.youtube.com/watch?v=aZTEkaC2IKg&t=11s>  
(CC trainingについてこちらの動画を参照ください)

### 6、リサーチマインド・大学院・留学

当NICU全体の風潮として、赤ちゃんのためによいと思われることは何でもやってみよう！という空気が有り、臨床研究など、新しい取り組みにも全員が積極的な姿勢でいます。ともすると余計な仕事が増えるだけと感じられる臨床研究でも、それがよいものであるならば、どんどんやってみよう、という雰囲気があります。それぞれがテーマをもって臨床と同時に研究に取り組むことが奨励されています。信州大学社会人大学院制度を取り入れ、学位を取得した医師もいます(学費の半分をこども病院が補助しています)。また、中村・広間はカナダToronto大学に留学していた経験があり、2016年からは小田がNAVAの臨床研究でフィンランドTurku大学に留学し、希望があればその道を紹介することも可能です。

新生児は誰もが最初に通る道であり、一般小児科医、専門小児科医においても新生児の基本的な素養は必須だと思います。ずっと新生児医療に従事しようという方はもちろん、そうではない小児科医の方も歓迎します。経験の多寡も問いません。これだけの幅広い経験を同時に積むことができる施設はそう多くないと思ひます。

そして、新生児科医師として必要なのは、知識・技術だけでなく他診療科と他職種と良好な関係を構築できるコミュニケーション能力です。それは医師である前に社会人として基本的なことではありますが、新生児科は特に調整役として機能しなくてはならないために、それが特に必要とされる科でもあります。

長野県の最後の砦としての重圧をやりがいに変え、忙しい環境ながら楽しく仕事ができる仲間を募集しています。お問い合わせをお待ちしています。

～連絡先～

新生児科部長 小田 新

araoda(アットマーク)gmail.com

アットマークを@に変えて、送信ください



全国の仲間と共にNAVAの書籍を出版しました



CC trainingのコアメンバーとフィンランドのメンターです



2024年の新生児生育学会を主催します。テーマはファミリーセンタードケアです